

会場建設工事における課題とその調整状況について

令和 5 年 1 0 月 2 0 日
大阪府市

会場建設工事における課題と調整状況について

・バックヤードの確保

建築工事の資材置き場、現場事務所、作業員の駐車場等に活用することを想定

【今後の取り組み】

夢洲の市有地等をバックヤード用地として提供

①南東部エリア(12ha)

建設発残土の受入地として整備

(4~6haの提供が可能)

- ・残土受入エリア外：直ちに活用可能
- ・残土受入エリア内：残土受入完了後※活用可能
※残土20万m³R6年9月末まで受入と想定
※残土受入エリアの位置については、今後、協会と調整

②夢洲交通広場

周辺工事の工事ヤードとして使用中、
使用エリアを調整し活用可能なように調整
(1haのうち、提供範囲を段階的に調整)

- ・直ちに活用可能(0.05ha)
 - ・R6年度夏以降活用可能(0.2ha~)
- ※面積は周辺工事との調整による

③夢洲コンテナターミナル

資材がコンテナにより海上輸送される場合、
コンテナターミナルの事業者において、
コンテナの荷下ろし、コンテナターミナル内
の蔵置に対応

- ・現状において対応可能(コンテナに限る)
(R6年4月から活用可能な拡張部含めてターミナル全体で対応)



会場建設工事における課題と調整状況について

・工事車両の出入口の拡充

【今後の取り組み】

工事期間中の円滑な現場へのアクセスを確保するため、工事車両の出入口を新たに3カ所を新設し、計6カ所に拡充。博覧会協会が拡充するスケジュールに合わせて協力。



会場建設工事における課題と調整状況について

・下水受け入れの前倒し

【これまでの取り組み】

- ・当初の供用開始予定（令和7年4月）を3ヶ月前倒して、令和7年1月より供用開始すべく、工事を実施中。

【今後の取り組み】

（博覧会協会からの要請）

- ・万博会場内の排水側溝等の工事を着手するため、仮設浄化槽撤去が必要となり、令和6年9月から工事中の排水を下水道に受け入れてほしい。

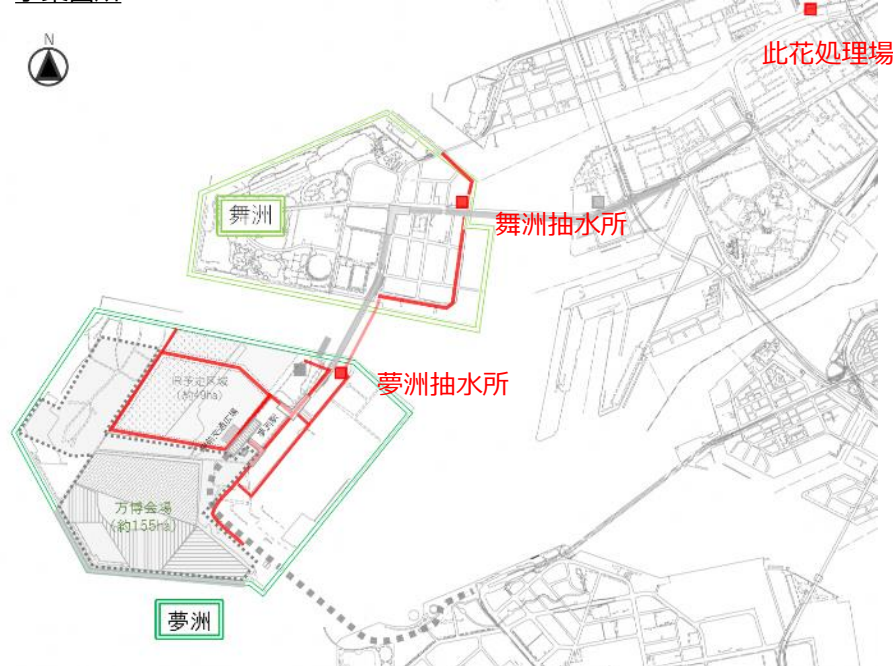
（対応案）

- ・工事に伴う排水の受け入れを、下水管による貯留と汲み取りによる暫定的な対応について調整中。

※具体的な実施手法やスキームについて引き続き関係者で調整

概要	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
管渠(φ250～φ2200mm、L=約17km)		詳細設計等			工事		プレオープン	
夢洲抽水所(新設)、舞洲抽水所(増設)		詳細設計等			工事		→	
此花処理場の機能増強		詳細設計等			工事			

事業箇所



会場建設工事における課題と調整状況について

・水道整備の早期完成

【これまでの取り組み】

建設工事等に必要な水量の供給に向けた整備（完成済）

【今後の取り組み】

万博開催期間中に必要な水量の供給に向けた整備の早期完成

完成時期：令和6年3月末

<凡例>

- 管路既設
- 管路新設（完成済）
- 管路新設（R6.3末完成予定）

注） IR事業の開業など、万博以降の将来のまちづくりに必要な水量を供給するための一部工事（右図の※部3か所）は来年度中に完成予定であるが、北港・舞洲地区での水道施設内の工事及び物流ゾーンでの小規模かつ短期間の工事のため、万博関連工事の施工環境への影響は生じない。

